

労働組合の結成

大阪城 1号
44.5.26 全港考
建設支部
西成分会

西成分会結成さる！

—— 土建日雇労働者団結す ——

5月23日夜、西成市民館で西成の日雇労働者が闘う労組を作った。我々は、資本家のすきな様にはさせない。我々は団結して我々の正しい要求を闘い取ろう。

我々の要求は

- (1) 8時間労働、日当二千二百円よこせ！
- (2) オールナイト6050円よこせ！
- (3) 休業保償は日当を満額よこせ！
- (4) 休日労働日当は2割5分増出せ！
- (5) 労災休業保償最低1500円出せ！
- (6) ドヤ賃下げろ。ナンキン虫追放せよ！
- (7) 天井2M10cmよこせ、建築基準法守れ！
- (8) マンモスセンターに風呂作れ！
- (9) マンモスセンターの住居よこせ！



(10) 無料宿泊所建てろ！
以上のスローガンを150名以上の参加者の圧倒的な支持できめた。

西成分会に強い支持結集！

結成大会には、総評帖佐議長も結成を祝い、団結をしようとの決意を表明された。四百万の労働者が我々を支持している。全港湾大阪港支部、建設支部からの連帯の挨拶を受けた。我々は権力の弾圧を力ではねかえして行けるのだ。一人一人が力をつくして闘おう。

労働者の団結は役員におんぶしてはだめだ
堂々と一人一人が闘おう。

機関紙「大阪城」に決定

執行委員が大会後十分討議して、妙案が浮かばなかったが、大阪城という名前が我々の意見を発表していく事にしました。

5月29日（木曜日）

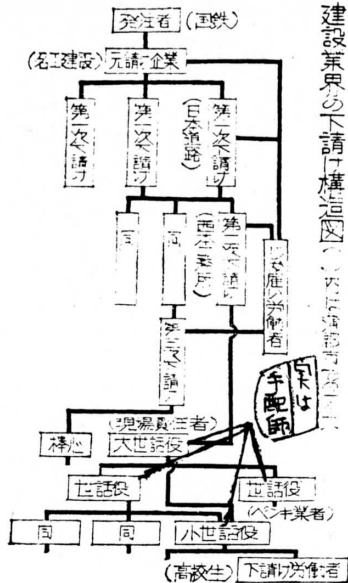
大阪府と団体交渉を行う。5月24日の交渉で大阪府労働部の大月課長は、我々の要求に対して誠意を持って努力すると答えた。大阪市も団交に応ずると答えた。我々が力で要求してはじめて役所は動くのだ。

自信を持って闘おう。

組合はたたかいつづける！

三ヶ月で夜逃げすると言われた！
労働組合が闘い取った記録！

朝早くから夜おそく迄重労働に従事し、身も心も、クタクタに疲れてかえる労働者に機関紙大阪城を手渡す時にゴクローサンノガンバレヨの言葉を交すなから釜ヶ崎に労働組合がどうしても



必要なんだと考えるようになり遂に四十四年五月二十三日組合結成となった訳です！時にはヒドイ言葉を背に受けつつ組合を拡大しよう！笑われないようになろうと皆んなが努力して今日の西成分会があるのです！

我々釜ヶ崎の日雇労働者は団結して闘えば勝利すると言うことは愛隣小・中学校建設費の問題もそうです。全国に一千万以上いると言われている日雇労働者が日雇失業保険の適用させたこと！額こそ小さいが一時金と名のつくものを闘い取れたのも、やはり団結が大切だと思います！三日でツブレルとか一ヶ月でツブレルと言われながらもここまでやってこれたのもやはり組合は必要なのだと言うみんなの気持があったからと思います！

(大阪城一九七三年五月三日五四号より)

新幹線の深夜工事に高校生を使っていた。孫請制度＝手配師、人夫出しの温存がその原因

万国の労働者・被抑圧民族

団結万才！



メーデー

①

第三回釜ヶ崎メーデー宣言

釜ヶ崎労働者、怒りを組織せよ！

《釜ヶ崎メーデーの経過》

釜ヶ崎に組合ができ、それまでの自然発生的な無言の暴動による抗議から、意識的な労働者の意志表示へ。抑圧された大衆が、公然と自分たちの要求を掲げ、世界の労働者の闘いと結びつく！！

ここに、釜ヶ崎の新しい歴史がつづられてきた。

一九七〇年、第一回釜ヶ崎メーデーは、警察権力の偏見と差別に基づく弾圧によって不許可、無届けデモ

を貫徹、最初の地区内デモになった。

（不許可理由）

本件申請にかかる集団示威行進（以下「デモ」という。）は、いわゆる「あいりん地区」の中でも最も事件が多発し、過去における大規模な集団暴力事件および道路路上における悪質な群衆い集、事案の中心となつてゐる区域で行なわれるものである。同地区の特異性、本件デモ申請団体と共闘関係にある団体の性格および申請団体に対する住民ならびに一部労働者の感情等を勘案するとき、本件デモが端緒

メーデーは、シカゴの底辺労働者が八時間労働制の確立と賃金引き上げを要求して決起したシカゴ大暴動を記念して始まった。釜ヶ崎労働者もまた、就労日の無保障、手配師のピンハネ、暴力現場、飯場、低い賃金など、苛酷な労働条件下におかれている。建設業者、飲み屋、ドヤ主などの資本家どもに、血肉までもむしゃぶりつくされている。釜ヶ崎暴動は、それらの資本家や権力（国営暴力団・警察）、支配者に対する怒りの大衆抗議の爆発であつた。釜ヶ崎は昔の釜ヶ崎ではない！

第一回、釜ヶ崎メーデーは、デモがポリ公の弾圧で不許可になった。第二回、釜ヶ崎メーデーはポリ公の挑発を受けた。釜ヶ崎労働者の階級意識は急速に高まつていく。とぎすまされた怒りは、全港湾建設支部西成分会を軸にして、明確な方向性を堅持する。行動的、組織的に、はっきりした意識を持った闘いは行政の中に対策機関をつくらうとする動き、失業保険、健康保険の適用、夏、冬の一時金の獲得、愛隣小中学校の建設など労働者の手で釜ヶ崎の歴史を一つ一つぬりかえて来た。

アメリカの軍隊は、ベトナムで大敗北をこうむつた。ガタガタの佐藤反動政府は、沖繩へ自衛隊（日本軍）を派兵して侵略の最後の悪あがきをしている。だが、必ず全世界の人民は勝利するにちがいない！

明らかに情勢は転換した！疑いもなく労働者に有利に発展している。釜ヶ崎労働者は断固として闘う決意を固めよう！敵の悪あがきをはねのけ闘わねばならない。我々の当面の闘争目標は次の通りである。一、ピンハネ手配師追放！一、日雇労働者用住宅を建設せよ！一、日雇失業保険手当を一、〇〇〇円にせよ！一、日当、最低三〇〇〇円以上獲得！一、労災休業補償満額獲得！万国の労働者団結せよ！釜の労働者団結せよ！我々は断固闘うぞ！

右、宣言する。

一九七二年五月一日

第三回、釜ヶ崎メーデー実行委員会

第四回釜ヶ崎メーデー宣言

今から87年前、アメリカの労働者達は、低賃金と長時間労働に抗議して、大ゼネストをぶちぬき、国家権力の弾圧にもめげず、8時間労働を勝ちとった。このアメリカ労働者の革命的な闘いと魂を受けつぎ闘いの決意を新たにすることが、メーデーの意義である。

わしらは、いつもバラバラの仕事場、飯場に働き、みんなが一同に会する事がないじめじめした地下鉄工事、高層ビルの屋上、ヘドロの川、ホコリの渦巻く工場、鉄骨の飛びかう製鉄所、港の荷役にと、低賃金、重労働でこきつかわれ、強搾取、暴力、不衛生、不健康、虫けらのような扱いを、つと身に受けてきた。わしらは、再度怒りを新たに、闘いの決意を固め、それをみんなのものとする為、ここに集まった。

西成分会は、今月の23日で5年目を向えます。日雇失保、健保の獲得、夏冬一時金の獲得、医療の改善、賃金不払い、労災処理などの日常活動、今年に入ってから、アブレ手当のアップなど団結闘争の成果を生むことができた。又、昨年5・28暴力手配師鈴木組との闘いに端を発する暴力手配師追放の闘いの成果は、全釜ヶ崎労働者のゆずり渡すことのない共有財産として皆んなで守っていかねばならない。

海の向うのベトナム人民は、アメリカ帝国主義、50万の米軍を25年間の決死の闘いで打ち破り、米軍をたたきだした。この事実は、わしらを何よりも、勇気づけはげましてくれる。日本でも、「人の世に熟あれ、人間に光あれ」と誇り高く宣言し、国家権力、資本家どもの搾取、差別、抑圧に対し、不屈の闘いを切り開いている部落民の闘い、日本帝国主義の「強制連行」により日本につれてこられ、かこくな重労働を強制され、今なお国家権力の弾圧と闘いぬいている在日朝鮮人、中国人の闘い、そして沖縄人民の、三里塚農民の闘い、でかせぎ農民の闘い、これらの闘いはわしらを、絶

対はげまし、勇気づけるものをもっている。搾取、差別、抑圧、弾圧され続けてきた者達の怒りと魂を、わしらは誇りをもって育てていこう！

わしらの敵はだれか？建設産業では、竹中、大林、大成、鹿島、清水、熊谷などの元請でつくっている建設業協会である。わしらは、建設業協会との団交権確立をめざして闘ってきたし、今後も強力にやりぬこう！建設労働者の心は一つ、400万建設労働者は一丸となって、建設業協会と闘いぬこう！資本家どもの手先、労働省、大阪府大阪市に対する行政闘争を一層大衆的に攻撃的にやりぬこう！悪徳手配師、ドヤ主、悪徳病院、ごろつきどもとの闘いを、手をゆるめず闘おう！そして、わしらを、ナグリケリ、ヒッパリこむ労働者の敵、大阪腐警、西成ケイサツに対し、わしらの仲間を守りぬこう！

あれくるうインフレ、物価高、労働者弾圧の田中内閣、わしらは、上流階級、支配階級に対して、荒々しい憤激と憤怒を感じる。怒りを感じている間だけ、わしらは人間である。わしらは、支配階級に搾取、抑圧されている。ひとりひとは、弱いけれども、いっしょになれば、一つの力になることに気づいた。これは、わしら無産者の唯一の共有財産である。

わしらは、山をくずし、新しい建物を建設した。わしらは、釜ヶ崎労働者は、古い資本主義の世界を打ちくだき、新しい労働者の世界を建設する。

労働者の誇り高らかに、団結ガンバロー！
メーデー万才！

釜ヶ崎解放！
右、宣言する。

一九七三年五月一日

全港湾建設支部西成分会

となつて集団不法事案が、惹起されることは、過去の事例に照しても明らかである。このことは、まさに公共の安全に差し迫つた危険が明らかに認められる場合に該当するものであり、よつて当公安委員会は「行進及び集団示威運動に関する条例」（昭和23年10月5日、大阪市条例第77号）第4条に基づき不許可とした。

（傍点は組合がつけました）
第二回メーデーは、第一回メーデー不許可を糾弾して、デモ許可を勝ちとり、最初のデモになったが、藤野委員長をはじめ分会幹部

4名が不当逮捕された。

労働者の政治意識の高まりに、恐れた支配者のアガキであつて、この不当弾圧をはねのけて闘われた。

第三回メーデー、71年とこの72年は、いわゆる「釜ヶ崎の暑い夏」で暴動が続発する年となったが、このメーデーに対する不当弾圧2名の逮捕がその直接のきっかけになった。

労働者の解放の要求が非常に強く高まったメーデーである。

第五回釜ヶ崎メーデー宣言

88年前、8時間労働制をもぎとったシカゴの労働者の意志を受け、釜ヶ崎労働者は今日ここに第五回釜ヶ崎メーデーを戦闘的に闘う。

長い暴力支配・搾取・収奪、そして差別に苦しめられたわしらは、労働組合を結成し、労働者の唯一の武器である団結と組織を守りたたかってきた。

日々の賃金、労災、労働条件、失保・健保の闘いは、労働者一人一人の差別を憎み暴力支配に屈しない抵抗の闘いの中でかちとられた。

そして今、このつみかさねは、一つの大きな力となり、貧乏と奴隷状態をもたらす資本主義と国家そのものに対する闘いとなった。

昨年、西成分会は、政府・労働省との中央直接団交で、国と政府が直接釜ヶ崎に対して、責任があることを認めさせた。

竹中・大林をはじめとする、大建協との五十日間の夏期一時金闘争は、使い捨てを許さぬ建設日雇労働者の団交権をめぐる闘いを大きく前進させた。

釜ヶ崎労働者は、激動の74年を、差別を許さず闘い続ける。

この冬、資本家どもは、わしらから仕事を奪った。生活の糧を失ない、多くの仲間が、一畳のドヤからさえ、いてつく寒さの中に追い出され、行政によって差別に満ちた施設・病院におわれた。

釜ヶ崎労働者は、この中でも、差別行政を糾弾し、たたかい抜いた。

74春闘六〇〇万組織労働者は決起し、スト権をゼネストで奪いかえすことを決意した。釜ヶ崎労働者は、四〇〇万建設労働者の中核となつて、二五〇〇万未組織労働者の先頭で闘い、全労働者階級の大同団結を闘い続けることを決意する。

差別と分断の攻撃は激しく、釜ヶ崎労働者におしよせている。資本家は、仕事を奪

メーデーの歌

一、聞け万国の労働者

とどろきわたるメーデーの
示威者に起こる足どりと
未来をつぐるときの声

二、永き搾取に悩みたる

無産の民よ決起せよ
今や二十四時間の
階級戦は来たりたり

三、汝の部署を放棄せよ

汝の価値にめざむべし
全一日の休業は
社会の虚偽をうつものぞ

四、起て労働者ふるいたて

奪いさらし生産を
正義の手もととり返せ
奴らの力何ものぞ

五、われらが歩武の先頭

掲げられたる赤旗を
守れメーデー労働者
守れメーデー労働者

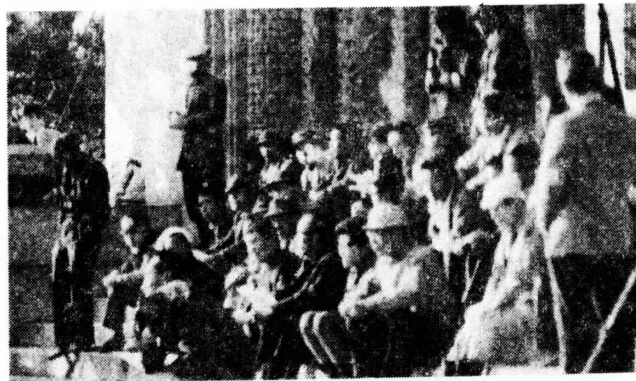
い続け、暴力手配師・飯場は、暴力を強め単価を切り下げた。大阪府・大阪市の行政は、団交拒否と差別文書で差別行政を鋭くし、住宅・病院・老人・「身障者」・教育・施設などのあらゆる「福祉」を奪い続け、西成警殺、国営暴力団の増強による暴行・恫喝で釜ヶ崎労働者の怒りと抗議の声をみけそうとしている。

わしらは、これまで、出稼ぎ農民、沖繩出身者の闘いから、人間の尊厳をかけて闘う被差別部落民から、民族差別・迫害と民族の誇りをかけて闘う在日朝鮮人・中国人から不屈な精神と闘うものの誇りを学んだ。これらのはげましをうけ、怒りと憎しみを新たにしていここに宣言する。釜ヶ崎労働者をいつまでも賃金奴隷として、鉄鎖のもとに踏みつけにしようとする者を許さないし、必ずやわしらの団結でうちたおすことを！

今日、全世界の労働者は、一斉に戦いに立ちあがっている。ベトナムで、アラブ、パレスチナで、そしてアフリカで、多くの血の犠牲を流しながらも、闘いは続けられ、解放への銃声は、わしらのもとまでとどいている。

メーデー万歳！第五回釜ヶ崎メーデーに勝利しよう！釜ヶ崎解放！

一九七四年五月一日



西成署に対する抗議行動

労働者はたち上がる

釜の労働者の仕事は、日雇で、その日その日で、現場（仕事場）、賃金、労働内容がちがうし雇い主もちがう。ここから、労働条件をめぐる闘いが、労働者の抵抗としてまきおこる。

権利とは利益を守る

権力のことで

だから、「労働者の権利」とは、労働者の利益を守る権力のことです。生活を守るには、まず、労働者の権力を、しっかりと打ちたてることであり、組合の組織を強くすることです。

本組での労災の場合

労働者Yさんは、8月12日に本組でケガをした。しかし、13、14日はケガをがまんして働いた。15日にはがまんできず病院へいった。8月21日には医者

②現場でのたたかい 労働者の権利とは何か？

者の診断が「2週間」と出た。本組の

世話役（木下）と本組の上の乾建設はYさんに示談にしようといった。Yさんは労災の事をよく知らなかった。2週間の示談にした。しかし、本組は6日分しかはらわない。9月5日に仕事にいくと、世話役の木下からは「オッサンはケガしたらこまるから帰ってくれ」といわれた。そこで、Yさんは本組のしうちに腹を立て、組合に相談したのです。組合は、労災の示談そのものに反対です。示談でよろこぶのは業者であり、泣くのは労働者です。Yさんの相談で、組合から本組に抗議すると、あとの8日分をYさんにしはらったのです。示談は、絶対に労働者に不利です。本組のYさんの例でもあきらめず、ケガをしたらスグ医者にみせ、労災にするよう業者に要求しよう。本組の上は乾建設、元請は竹中工務店です。

（大阪城一九七四年九月三日一九六号より）

早田組→中山製鋼で

6月6日、釜ヶ崎労働者、団結して、

3500円→5000円に、賃上げ勝ちとる！

6月6日、レンガの手元、8：30～4：30、三

呂円で早田の車にのった。仕事のまえになると、あきれた事に、労働者に「安全の誓い」とかぬかす事をいわせる。内容はフザケていて、

①私はケガをしない事を誓います。

②私は他人にケガをさせない事を誓います。

③私は安全規則を守る事を誓います。

これは、ケガをするのは労働者が悪いという考え方である。だから、鉄粉が渦巻いていても、マスクもさせない！

さっそく団結して抗議して、全員にマスクをつけさせた。仕事はというと、溶鋼炉の熱風にふかれ、ホコリをすい、重いレンガをはこべという。全員、頭にきて、賃上げを五〇〇〇円とする事を決め16人が団結して交渉した。

早田組は最初、300円色をつけて三〇〇円にするなどと、ネボケタことを答えてきた。わしらは、「子どもの使いやないんや！」と、第一次回答を拒否した。第二次回答は、四〇〇円だった。しかし、わしら16人は五〇〇円をゆずらず、最後には五〇〇円で押し切り、勝利した。

早田組→中山製鋼にいく労働者のみなさん！

団結すれば勝てる！明日ゆく現金の人も、あさつての現金の人もガンバロー

（大阪城一九七四年六月八日八二号より）

労働者の声

割りばし、新しいのつこてますわ！

12月15日のビラに、「河本建設（柳井建設）が、弁当に、つかった、割ってある割りばしを入れてあるのを抗議した。四、五日前、労働者から報告があつて、「紙のふくろに入れた新しい割りばしつこてますわ！」という事です。

（大阪城、一九七四年三月五日共亨より）

根本的解決は国がとれ！

釜ヶ崎労働者、労働省交渉を闘い抜く！
オイラは全国の日雇い代表だ！

要求と回答

一、日雇失業保険アブレ手当を五〇円以上にせよ！

釜ヶ崎では、ドヤ代やメシ代などの物価は、年々、上昇している。労働者の生活はさらに苦しい。労働省は20余年、無法と行政不在の償いをどれだけしたのか。アブレ手当 七〇円は45年から、そのままじゃないか。

回答…今年度から、50%程度引上げたい。実施は、今国会を通してからになります。

一、労災補償については、賃金六割とせよ！

大手企業の労災補償は、ほぼ常用労働者には10割が補償されている。日雇労働者には、求人業者が貸金台帳を備えていないので4割4分程の補償しかない。平均賃金を公示し6割の補償をせよ！

回答…業者指導をてつていし、労働者の不利をなくすよう制度を検討する。

一、昭和41年以前、労災で手足を切り落された労働者に年金を支給せよ！

回答…労災審議会には全港湾の兼田委員長も委員ですので充分審議します。

一、あいりん職安に就労紹介をうつせ！

釜ヶ崎の悪の根源は職安が職業紹介しないでセンターにあずけつぱなしだからだ。

回答…職安に就労紹介はうつします。さらに大阪

③国・暴力職安とのたたかい アブレ手当・失保 五割程度のアップを回答

に労働省の役人がきて、組合と交渉することを約束さす。

(大阪城二五二年一月七日六号より)

国の分裂政策と闘おう！



労働省本庁での大衆交渉

雇用保険
法、日雇労働者健康保険改正法、
労災保険改正法の三法案、参議院で廃案に！
先に「大阪城」で10月からアブレ手当が三〇円に〃を知らせましたが、衆議院は通過し

たものの参議院で廃案となり、アブレ手当の引き上げは流れた。

政府のやり口は、日雇労働者の問題を他の労働者との分裂を因る為に常に利用する。

今回の雇用保険も出稼労働者と日雇労働者をケンカさせる。健康保険も悪名高い優生保ゴ法とセツトでないと通さないというひれつなやり口、政府の分裂政策と闘い、アブレ手当の引き上げをたたかおう！

(大阪城二五四年六月八日二五号より)

国の政策はいつも、多くの労働者を安く酷き使うため、失業者を作り、その要求を無視する。

ただ暴動や、反抗が強まり『社会不安』になる時にだけ、少しの譲歩をする。

釜ヶ崎で暴動が続く、組合が生まれ、その強い要求で、はじめて、敗戦後すぐにできた失業保険を、ようやく一九五五年に適用した。しかし、これも日雇労働者に不当に差別的な低額なもので、実際は貸金統制(貸金を安くおさえる)になっている。

組合が、全国の仲間の先頭で国の責任追及をおこなったのは画期的なことだ。

暴力職安とのたたかい

藤野委員長に暴力

——カウンターから突落す——

釜ヶ崎労働者の正当な要求をかかげた全港湾西成分会の団交申入れに応じないばかりか、抗ギ集会中の藤野委員長をカウンターから突落すという暴行を加える職安。

怒りは頂点に達した

西成署のポリ公を入れ、職員の暴力で正しい道理のある要求を黙殺しようとする職安を絶対にこのままにしておくことはできない。労働者の魂で一人ひとりが闘いに参加しよう。

(大阪城一九七三年三月六日五七号より)

ぼうりよくしどあん
暴力職安をやっつけよう！

9月26日、朝、認定の時、職安の職員が認定の労働者を職安の中へよびこんだ。そして、「港湾の仕事があつたやないか！」「取り消しがおおい。おまえなんか出てゆけ！」といって、労働者のすつているタバコをたたきおとした。机に手をおいてみると、「手をおくな！そっちで立つとれ！」まるでヤクザやポリ公顔まけのことをやった。労働者が「なんで不当な扱いをするのか？」と抗議すると、「文句いうな！」「出てゆけ！」と手帳をほうり投げた。

9月28日、労働者がその事で抗議にいくと、「あんたは酒でよっぱらっていた」とウソをついて、ゴマカス。この職員は、ギョロ目と言われているやつで、とくに労働者なかせの悪いやつである。暴力職安を、一つ一つ攻撃しよう！

(大阪城一九七三年九月三日六九号より)

暴力職安闘争報告

昨日の朝、Aさんは、認定にならんでいたが、トイレにいきたくなった。で、友達に手帳を渡して、トイレにいった。友達のBさんは、順が来たので、いっしょにAさんの手帳も出した。

ところが、職安は、Aさんの手帳を受けとっておりながら、金はやらんという。その上、職安に話にいった労働者を、10人近くの職員が、よつてたかつてポリ公がやるように職安から追い出すというありさまです。

まだ、おれ達の、職安攻撃は、なまぬるくひ弱

8時からの認定風景



いが、徹底してやり切るかくごです。(大阪城一九七三年九月三日六四号より)

「金をわたさん」とムチャクチャな弾圧

仲間の皆さん！またまた暴力職安は、新しい手口の弾圧をしかけてきたのです。6月ごろは、労働者をナグリ、大衆の抵抗が始まると、少しおとなしくなり、それもほとぼりがさめると、「申告書をわたさん！」といいだしました。しかし、この弾圧も、抵抗闘争で、はねかえされ、粉碎されたのです。それで考え出したのが「金をわたさん！」という新手の弾圧です。窓口到手帳を出して、職安が手帳をうけとっておりながら、職員の気分一つで、「お前は、おそいから金わたさん！手帳だけかえす」というのです。

仲間の皆さん！わしらは、今まで暴力職安の弾圧を、全てはねかえしてきました。暴力職安に泣きつかれて応援にきた制服ポリも、200人以上の抗議でセンターから追い出しました。すきあれば、労働者を弾圧し、生活権をうばい去ろうとする暴力職安を許すことはできません。この「金をわたさん」という弾圧を、皆んなが自分の事として考え、戦を前に上に大きなものにしていこう！

(大阪城一九七三年六月一日八七五号より)

(大阪城一九七四年八月三日三三九号より)

大阪府は仕事を保障しろ！

― 決起集会・デモンストレーション行動 ―

今年の冬は例年と比べとりわけ仕事がない。現在センター求人はゼロに等しい。こうした根本原因は大阪府労働行政が手配師を温存させ、大手建設資本の悪を許し、そのしわ寄せを労働者にもたらしている差別行政の結果である。大阪府はそうした差別行政を改めるためにも、まず冬場の仕事確保のため出来る最大限の事を具体化させる義務が大阪府にある。

(大阪城元三年正月九日(三)号より)

本日の10・20仕事よこせ・冬期闘争勝利総決起集会に結集しよう！

現在釜ヶ崎に仕事がない。そのため、路上求人・顔付け求人が横暴し、労働者の足許を見た賃金切り下げ・労働条件無視がまかり通っている。一方、飯代があがる・ド

ヤ代があがるで、釜ヶ崎労働者の最低限の生活でさえ破壊されてきている。

この責任は誰れか？それは独占資本であり、その代弁者である国・大阪府・市の労働行政であり釜ヶ崎労働者の回りにダニの如くまつわりついている手配師を始めとした寄生虫共である。

インフレを作りだしたのは独占資本・日本政府であり、インフレ退治という大儀名文で総需要抑制策を打ち出し、公共事業を押えて、釜ヶ崎労働者の仕事を奪っている。西成分会に結集し、「仕事よこせ」の闘いをまき起そう！！

仕事よこせノ年末一時金―冬期闘争勝利ノアブレ賃を三〇〇円以上にせよノ

ドヤの値上げやめろノ

石川君は無実だノ完全無罪判決を行なえノ

日朝友好団結ノ黄さん一家に特別在留資格をノ

(大阪城元三年十月二日号外より)

④大阪府・市とのたたかい

大阪府は、一時金をよこせ！

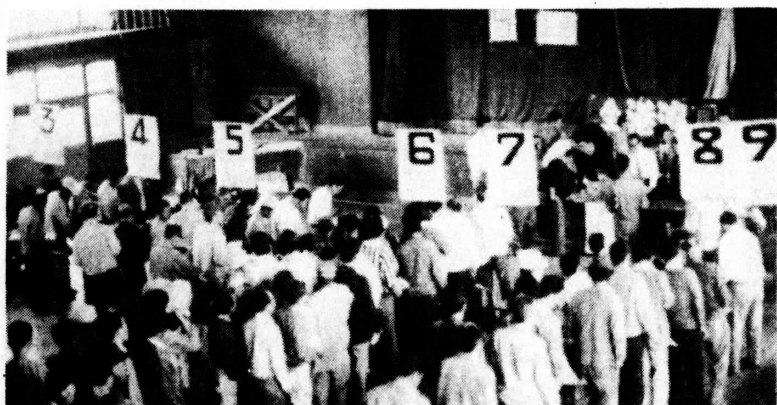
国家権力・行政は、労働者がだまってもとなしくしていいとなくならない。

そのよい例が、前の労働部課長代理川西(いま西の職安の所長)である。こいつはみんなもしつてのとおり、昨年の冬の一時金闘争の中で、「娯楽室をつくれ！」と要求をしたのに対し、「そんなものはスグできるからスグつくります」と約束しながら、西職安にとんずらしている。行政というのは口先で調子のエエーきれいな事をいう。その約束を、6月28日の第一回の団交でも追及したら、桂室長というやつがまたスグつくりますとぬかす。

「はつきりせえ」とつめよると「今年の末までになんとか……」とねばけた返事をする。「おまえらのスグという日本語は一年あとにという意味か！」と追及すると、桂は「8月中旬にセンターの2階南側につくる。費用は200万以上かかるという。だまっている、行政はなにもせん。明日12日はぜひ結集して、府の役人どもを反省させよう！暴力職安のデタラメぶり、労働者弾圧をゆるしておる役人どもをとつちめよう。センターの中の抵抗をさらに広め、深め、大阪府との団交に勝利しよう！」

(大阪城元三年正月九日(三)号より)

冬期一時金を受けとった人一二、九八一名ノ



差別的労働行政を止めろ！

就労確保などで

大阪府・基準局に要求書を出す！

猛烈な仕事減、失業保険の資格落ちなど、生活を圧迫する事態が続いている。又権利を奪う、日雇労働者の要求を無視した法律改悪（雇用保険法案、労災保険など）の動きがあります。

日雇労働者の生活と仕事を確保する為に、役人供に責任を取らせよう！

昨年の大阪府団交では、就労確保について何の具体策も出さず、失業保険で何とか生活して下さいと答弁をした。年が明け2月になっても仕事は増えないし、仕事がない為に失業保険もとれない仲間がふえている。

（大阪城一九四四年二月九日（二九号より）

路上求人・顔付け求人（求人票を貼らない）の全ての責任は大阪府労働部・職安・基準局にある！

センター設立の目的は、路上求人を廃し、労働条件を明示させ、そして職安求人に移行させるための一環として作ったはずであった。にもかかわらず、現状は路上求人・顔付け求人ばかり通り、センターには求人車が全くなしである。これを放置してたのが大阪府労働部である。（7月26日大阪府交渉で判明。）

組合側の追及であわてた府労働部は、基準局との共同見解として「職安法18条（職安に求人申込む際、労働条件を明示する）をセンターに適用にする」事を明らかにした。

しかし、これだけでは手配師連中に通用しない事は明らかである。故に労働部に『職安法18条違反に対してはビジネス取締まる』声明を出させ、基準局には労基法15条（労働条件の明示）違反で取締らせ、そして路上求人に対しては警察に道交法違反等で取締らせよう！こうした闘いをバネにして職安に求人紹介をさせよう！

（大阪城一九四四年七月三日（三三号より）

大阪市の差別行政糾弾！！

労働者にメシをくえる生活を保障しろ！！病気を直せ！！

大阪市と団交ーみんないこう！

国民は健康的・文化的な生活を…と憲法はいいます。しかし釜ヶ崎は、重労働と汚い高いドヤで俺達労働者の体がむしばまれていきます。釜ヶ崎は憲法が存在しません。

この体を傷つけたものに心から腹がたちます。この怒りを団結の火種にして……！

大阪市への要求ーいのちとくらしを守るわしらの生活はわしらが闘って守る！

- ☆安い衛生的な公営住宅を釜ヶ崎に！
- ☆地下鉄・市バス運賃を、港湾・失対日雇労働者と同様、釜ヶ崎労働者にも半額割引をせよ！
- ☆ドヤ業者と組合との団交をあつせんせよ！
- ☆医療の根本対策を行え！
- ・医療センターの夜間診療を毎日行え！
- ・生保、医保の患者に大阪市は見舞金を毎月五千円出せ！
- ・結核患者をみな入院できる病院を確保せよ！

・精神病院の面会を組合にもさせろ！

（大阪城一九四四年三月七日（六号より）

【われわれの要求】

- 1、公共事業発注の際、釜ヶ崎労働者を雇用さすよう業者に義務化せよ！
- 2、釜ヶ崎内を毎月定期的にパトロールし、青かんをしている病気の者に対する対策を講ぜよ！
- 3、生活保護適用について条件緩和を計れ！
- 4、低家賃公営住宅を建設せよ！
- 5、釜ヶ崎労働者のための会館を建設せよ！
- 6、C地区（センター南側）工事に釜ヶ崎労働者を雇用せよ！
- 7、C地区改良住宅に釜ヶ崎労働者を入居させよ！

（大阪城一九四四年二月五日（三三号より）

約90名の釜ヶ崎労働者の強固な団結で

大阪市団交をたたかいぬく！

えんえん8時間にわたって

差別行政を糾弾する！

朝8時スギ、満員のバスでセンター前を出発。大阪市の玄関前で、建設支部の仲間とともに総決起集会。その後、釜ヶ崎解放の旗を高くおつたてて、庁内デモをし、団交の部屋へ。

釜の冬はきびしい。冬を、今年をどう生きぬくかは、釜労働者にとつてはぬきさしならぬ重大な

問題である。現場の厳しさを知らぬ、役人どもに最初から、鋭い抗議の声が集中。

その上、のらりくらりの責任のがれと、差別発言の洪水で、労働者の日頃の怒りは爆発した。差別行政糾弾と抗議の声は、夕方5時まで爆発のし続けであった。5時に団交を終り、建設支部桜井分会の仲間を抬げますため、第一勧業銀行の前で決起集会をし、その日の闘争をしめくつた。

(大阪城二九三年十月十四日二三号より)

大阪市こそ、差別の元凶

—— 74・2・20 市営住宅申込みのしおり「労務者不足」 ——

本日、大阪市政府と差別問題で5回目の団交

〔経過〕

★第一回目団交(2月28日)遠藤住宅部長出席

大阪市(公的機関)による一般市民むけ大量の差別文書の配布は、最も悪質なものである。

『労務者』という、差別用語の言葉上の問題だ

「労務者不足……」の差別を認めて自己批判

★第二回目団交(3月30日)民生局藤野以下三課長

「市政だより」4月号にのせる大阪市の見解を示す。

差別の本質を理解しないまま「市政だより」を出す

★第三回目団交(5月23日)民生局藤野以下三課長

「市政だより」の差別性を指摘しても、これでは十分な内容であると居直る。

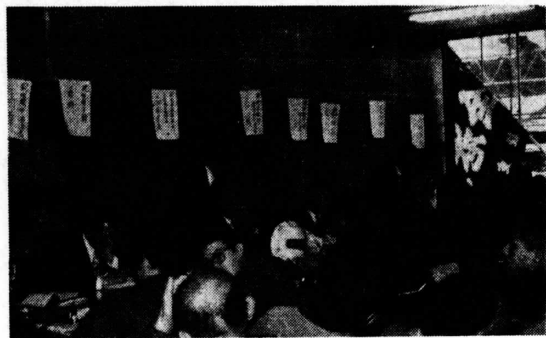
★第四回目団交(6月

4日)高野民生生沢住宅部長。

「労務者」は差別用語だが、ウソのほうは単なる不注意だと、本質をボヤカす。

ウソと差別用語をくつつけて差別を助長している大阪を追及しよう。8時10分頃出発。

(大阪城二九四年六月十五日二六号より)



けではない。『もうけが少ない』という理由の、行政と建設資本のなすりあい、工事の停滞がこり、多くの釜の労働者が失業にあえぎ、生活を奪われている時に、そして労働者が、失業の社会的責任を、大阪市の行政に対して仕事保障の要求をあげて追及しているときに、住宅の建設の遅れが、『労働者が不足しているから』『労働者が怠けて働かないから』としているのである！

釜ヶ崎労働者の大半が公共事業の工事に従事しているながら信じられないほどの低れつな労働条件を強制されており、行政の差別により、釜ヶ崎の地区環境が放置されていることに、ほかむりして平然と、差別をあげせかけるのだ！労働者は怒った。行政は、単なる言葉上の問題や、『ともかく認識不足』として、もつとも、悪意ある、意識的な差別であることを、す通りしようとした。

《謝罪文》として出された、大阪市政だよりの内容は、差別があるのは『家庭環境』『家庭教育』のせいである等、居直りの文章であった。

組合は、行政が差別を具体的な行為によって解消するまで、許さず闘いつづけてゆくつもりだ！



御堂ビル管理会社（竹中の別会社）の責任者。労働者に食ってかかり、不当に警察導入をもって労働者におそいかからせる。



（大阪城一七三年八月六日九元号より）

この事は労働者を直接雇用する者には、当事者能力がないと言う事と、労働者と下請に依り発展した大手建設業者が法律で定めなければ、社会的責任も果せない無責任さも証明しています。大阪建設業協会も大手建設資本も揃って、一時金と団交権要求に対して、下請か法律違反の違法手配師に要求すべきで有ると責任転嫁をしています。企業の社会的責任を問われる時代に、こんな無責任さは社会的に許されるはずがない。釜ヶ崎労働者は団結して闘うぞ！

⑤大手建設独占資本 とのたたかい



竹中（御堂）ビル前抗議集会

団交権をよこせ！

日雇労働者の50日間のたたかい

団交権は元請に有り

大手建設業者は釜ヶ崎労働者に

一時金二万円よこせ！

大手建設業者は、現場労働力は下請に全部依存し、現場で働く労働者を直接雇用していません。その下請制度は極めて複雑で、雑多な形態を持ち、監督行政当局もまた、元請もまた実態を知ることが困難な程です。

違法な人夫供給業の横行、資本を持たない下請の存在などのため労働者は賃金不払いや、労災不適用などの続発で泣かされて来ました。

この事は社会的に問題となり、労働省は労基法で労災の元請責任、建設省は建設業法で賃金不払いの元請責任の法律で明文化しなければならぬ程、多発したのです。（現在も有る）

建設業協会（竹中、大林、清水、大成、鹿島など）は

夏期一時金満額二万円支払え！

釜ヶ崎労働者は要求する

全関西の労働者、学生、市民の皆さん！

釜ヶ崎労働者は、大手建設業者の強制する奴隷の生活をハッキリと拒否し、労働者としての当然の権利を要求して夏期一時金闘争を闘いぬいていきます。

俺達の夏期一時金要求

建設業協会、大阪府、大阪市内に要求する

一、夏期一時金……一人一律二万円（日雇失業保険手帳所持者に）支払え！

一、副要求

一、賃金四千円以下をなくせ！

一、労災休業保障を賃金満額にせよ！

一、安全衛生法を厳守し、健康診断を行え！

一、夏期一時金支払日を八月十五日とせよ！

400万建設労働者の

「生き血の上にあぐらをかく」

大手建設業者、賃金をかせせ！

全ての高層ビル、ダム、地下鉄、工場、道路、橋、学校、公園、下水など、釜ヶ崎労働者の血と汗の労働ぬきにできません。竹中、大林、清水、大成、鹿島などは、あらゆる工事に釜ヶ崎労働者をつかい搾取（ジブネ）しておりながら一時金要求には、知らん顔です。このような「搾取は一銭でも多く、出すのは舌をだすのもイヤダ」という吸血鬼大手建設資本を、黙って許してはいけません。釜ヶ崎労働者は断固闘います。

釜ヶ崎夏期一時金闘争に支援を！

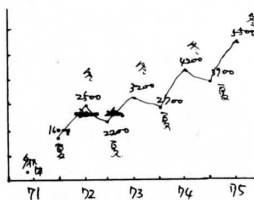
（大阪城号外より）



釜ヶ崎は大手の建設資本にとっては、いつでも首のきれる、安価な労働力の寄せ場であるとともに、使い切った労働力の廃棄場所と位置づけられ矛盾が、つもっているところである。

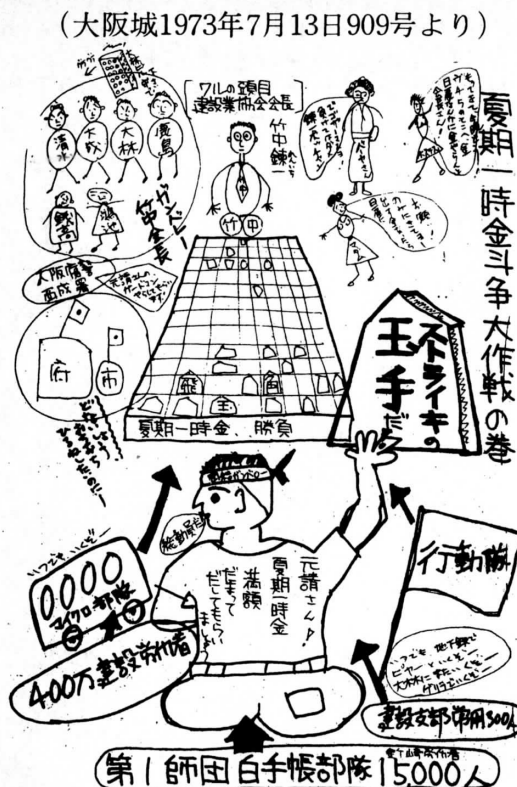
組合ができ、あまりにも正当な要求として、一時金を要求し、一九七一年、大阪府を窓口として『一時金』として白手帳（愛隣職安発行の労働者手帳）所有者に、わずかな額が支給されるようになった。（一九七〇年暮はタオル一本であった。）このことが制度的に確立し、金額も、少しずつ上り、対象者も増加するにつれ、出資者としての府市の行政と、大手資本の対立によって、大手建設資本は、この制度、貫行を廃棄する、釜の労働者に金など出す必要性は全然ない。話し合う必要はまったくないという態度をとった。このため、組合は、釜の労働者の全体の雇い主は建設資本総体にある。

建設業協会（会長竹中錬一、副会長大林好夫）は、団交に応じろという要求をもって、闘いぬいた。50日の座り込み闘争の結果、協会は一步後退し、全港湾の代表者との話し合いに応じ、一時金の制度の尊重を約束した。



不屈の50日のたたかい

大手建設業者への座り込み行動六日目に突入
大林組、下請では暴力手配師や、人夫出しを使い、大林本社は、全港湾の団結した座り込み行動のまえには、暴力ガードマンや、ポリを使ってコケ落とし。資本家の本質は、銭にまかせての暴力。
昨日は、大林に引き続き、竹中工務店、大成建



夏期一時金闘争、ますます団結が広がり、深まる。大阪府民、労働者から「ガンバレ」の激励。
一方、大林、竹中は、北浜や御堂筋のハジさらにになり、孤立を深めている。今や、多くの金をつかい、暴力ガードマンをやとい、シャッターをしめ、金網のサクをしている。「かつこう悪い」この上ない。そして、助けてくれるのは、大阪腐警の国営暴力団とクソなまいきな私服だけ。大林、竹中の戦友は、大阪腐警である。大林、竹中は、ポリ公をつかい、闘争を押しつぶそうとくらくらんでおります。
しかし、闘争は、ますます高揚し、「一点の火も荒野を焼きつくす」いきおいで団結が広がり、戦列が強化されている。

(大阪城元吉年八月二日四〇号より)

8月18日(土)釜ヶ崎労働者二〇余名結集する

(大阪城元吉年八月十日四〇号より)

設へも抗議行動をやる。大林組、バリケードを築いて、自分で醜態を天下にさらす。

(大阪城1973年7月13日909号より)



ねばり強く!!そして不屈に!!

闘争7週目突入!

参加人員のべ二千名におよぶ!

たたかいは、いまから本番、より多くの労働者の参加を!

大手建設資本の責任のがれ、恥も外聞もなぐり捨て、居直りによる争議の長期化が、もたらせられています。この責任の所在は、ひとえに、労働者の生活権、労働権、闘争権をふみにじり、法律クソクラエ、労働者なんか死んでも痛くもかゆくもないと言いはり、現実、そのことを実行する資本家どもにあることは、いうまでもない。われわれの闘いはすでに7週間目を迎えました。釜ヶ崎労働者の下根性が試されるのはこれからだ!

(大阪城元吉年九月二八日九〇号より)

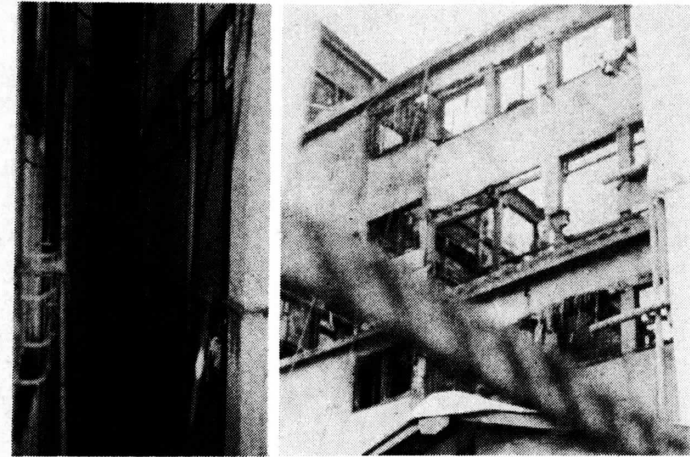
釜ヶ崎労働者の

不屈の42日間の闘いの前に

建設業協会、一歩後退!

(大阪城元吉年二月二日九七号より)

⑥ドヤ業者とのたたかい



殺人ドヤ糾弾！

公営住宅をかちとろう！

こんどこそは（山田一族）を許さぬ、着実なドヤ改革運動をおこそう！

千成ホテルは、消防法違反、建築法違反の人殺しドヤであります。その名の通り、4名の労働者を殺したのです。

また、その違法ドヤを、なぜか見逃していた、大阪市と消防局の責任は重大です。

（非常階段があつたら）（避難器具があつたら）そして、窓の金網がなかったなら、4名の労働者は死なずにすんだのです。61名もの負傷者はですにすんだのです。

千成ホテルを糾弾し、ドヤ改革運動をおこすにあたり、我々労働者は、熱しやすくさめやすい、という性質をあらためじみちだが着実な運動を進めていこう！

「人のウワサも75日」というように、糸山英太郎はまだ代議士にいなおり、田中角栄の金脈もウヤムヤです。千成ホテルをウヤムヤにさせない労働者の運動をつくらう！

（大阪城一九七五年三月三日三〇号より）

西成保健所はなにしとるんか！！

昨日、「大阪城」で、栄作虫（南京虫）のどるドヤを、組合に報告して下さいと書いたたら、さつそく情報がありました。

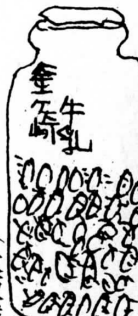
★三角公園のこの富士ホテル。ムチャクチャおるそうです。今から、こんな調子では、真夏になつたら、思いやられる。富士のおやは、すぐ消毒をせよ！！富士の名は、南京虫で有名??

★西成ケタオチ代官所の裏の越後屋もウジャウジャおるそうです。「ドヤ銭は、120円と安い、あれではバンクへいくよりまいる。仕事ができる」との報告です。越後屋はんも、スグ消毒せよ!!!

西成保健所、曰く「大阪貿易振興組合にたのんです。保健所はしりまへん」

大阪市環境不衛生課、曰く「係長も課長もいませんのもう少しあとにして下さい」上役がいねえと、何んにも答えられネーというのは、なんにもしてネーという証拠である。やつぱり、こんどの団交では南京虫バクダンをつくつて、大阪府と大阪市にもっていつてばらまいたらんとアカン。

★南京虫爆弾の作り方



牛乳びんの中に南京虫をいっぱい入れて、フタをする。南京虫が息できるように穴をあけておく事。

（大阪城一九七五年六月二六日六〇号より）

名前	大	日額	非常	ふろ	シー	あり	こ	窓	掃除
新大阪	2	400	×	0	?	△	×	0	×
チトセ	4	500	0	×	毎		0	0	0
旅館	4	8,000	×	×	前		0	0	?
富田荘	約		あ	週	週				
ホテル	3	600	0	0	1回	△	0	0	?
ニュー銀座	1	280	×	0	2週に	暗	×	?	×
霧島	1	350	×	×	1回	△	×	?	?
水都	1	300	×	×	2週に	暗	×	?	×
ビジネス	1	300	×	×	1回	0	×	?	×

（大阪城一九七四年六月二日二八号より）